

## 平成30年度決算概要について

平成30年度決算の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

### 1 平成30年度決算概要

#### (1) 平成30年度決算のポイント

##### ア 実質収支の確保

一般会計の実質収支は、市税や地方消費税交付金の増収等により、24億4,600万円を確保。

歳入総額	4,332億6,100万円 (対前年度1.3%減)
歳出総額	4,299億4,400万円 (対前年度1.1%減)

##### イ 将来負担の着実な低減

第3期財政健全化プラン(平成30~令和3年度)の主要目標として掲げた「主要債務総額の削減」は、令和3年度までに、4,800億円程度まで削減することを目標としており、平成30年度末時点で4,756億円まで削減し、現段階で、目標を超える結果となった。

また、全会計の市債残高は、対前年度比150億円の削減となり、8年連続で対前年度比100億円以上の削減。

#### (2) 健全化判断比率等

##### ア 健全化判断比率

実質公債費比率及び将来負担比率については、いずれも前年度より改善。

実質公債費比率	13.8% (対前年度△2.0P、早期健全化基準25.0%)
将来負担比率	145.5% (対前年度△13.9P、早期健全化基準400.0%)

##### イ 資金不足比率

病院事業において、医業収支の改善などにより、3年ぶりに資金不足が解消し、資金不足比率は、対象となる6会計でいずれも発生していない。